



紅葉の  
霜月

霜月(11月)に入りました。霜月は、霜降月(しもふりつき)を省略した言葉から由来しているそうですが、ここ数日、朝晩は霜が降りるような急な冷え込みが続いています。

この冷え込みに合わせてパラマス校内のメープル(楓)も美しく紅葉し、子どもたちは色とりどりの落ち葉を集めて楽しんでいます。メープルの葉の色づきとともに秋は日に日に深まりを見せています。

### 学校教育アンケート



今年度のアンケートは、より広い視点から学校改善を目指す「学校教育アンケート」として名称も内容も一新して実施いたします。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。以下、アンケートについて概要を説明いたします。

#### <目的>

このアンケートは、子どもたちの補習授業校での生活を生き生きとした楽しいものにするため、本校の教育活動や組織について保護者の皆さまの考えをお聞きするものです。

#### <方法・配布日時>

11月21日(土)に、表裏1枚紙面のアンケートを、担任を通して全家庭に配布し、翌週、翌々週に校内に設置する回収箱で回収いたします。



(高等部参観 2年国語)

#### <変更点>

- \*インターネットから紙媒体に変更致しました。
- \*19項目から15項目に減らしました。
- \*無記名方式とし、自由記述欄を設けました。

#### <質問内容の概要>

##### 学校生活に関する事項：5項目

- ①授業は楽しくわかりやすいと言っている。
- ②進んで日本語の教科書や本を読んでいる。
- ③進んで日本語を使っている。
- ④いじめのない学校生活を送っている。
- ⑤社会や学校のルールを守る態度を身につけている。

##### 教師に関する事項：4項目

- ⑥子どもをよく理解している。
- ⑦学習理解を深めるために教材を工夫したり指示や説明を分かりやすくしている。
- ⑧通知表(おしらせ)は子どもの学力や学習の様子をわかりやすく伝えている。
- ⑨宿題の量や内容は適切である。

##### 学校経営に関するもの：3項目

- ⑩児童の安心・安全対策に力を入れている。
- ⑪授業参観・懇談会、学校だより、ホームページ等で子どもの様子や教育方針を知らせている。
- ⑫「学校教育目標」を周知し、その実現にむけて努力している。

##### 保護者の皆さまへの質問：3項目

- 学校からのメール等の周知程度について。
- お子様の海外滞在期間
- お子様の今後の海外滞在予定期間

フーッ!  
消えたかな?



(幼児部 お誕生会)

#### <結果>

アンケート結果については、回答を集計・分析し、1月末を目途に保護者の皆さまに公表する予定です。

## どうして補習授業校に行くの？

先日、複数の保護者の方から以下のような相談がありました。

「我が子から、『どうして補習授業校に行かなければいけないの？補習授業校に行きたくない。』と言われ、親として子どもを納得させるように話すことが出来ませんでした。どのように解決したらよいのでしょうか。」

このような質問は、補習授業校に通う子どもたちが一度は経験したり疑問に思ったことではないでしょうか。

しかし、その解決方法はそれぞれのご家庭や子どもたちの置かれている状況が異なるために様々であると思われまます。そこで、「通う目的」と「行きたくない理由」をリストアップし、そこから解決策を考えてみることにしました。

### 1 「通う目的」をリストアップする

- 日本の学校にスムーズに適應できるようにするため。
- 日本の学校に帰国子女として入学するため。
- 日本語と英語のバイリンガルに育てるため。
- 主言語は英語だが、日本語を維持するため。
- 日本人としてのアイデンティティを持たせるため。
- 日本の文化、日本流の集団生活を学ぶため。
- 日本語でのコミュニケーションを通して精神的な安定を保つため。
- 友だち関係を楽しむため。
- 様々なバックグラウンドを持った友だちと知り合うことで多様な価値観を身につけるため。

### 2 「行きたくない理由」をリストアップする

- 宿題が負担だ。
- 人間関係で悩んでいる。
- 日本語力不足で劣等感がある。
- 補習校より優先したいことがある。  
(スポーツ、旅行、イベント等)
- 土曜日はゆっくりしたい。



(日本旅行ごっこ)

### 3 解決策を考える

#### <家庭の教育ビジョンを明確に>

「通う目的」を今一度確認した後、現在の我が子の状況と比較検討し、ご家庭の教育ビジョンを明確にします。また、将来の進学や就労についても、大学院ま

で行くのか留学するのか、就職は日本か海外か等も話し合うのもよいと思います。しかし、このビジョンは子どもの成長や社会情勢に合わせて変化するものであり、初志にこだわる必要ないと思います。

#### <現実に即して考え、解決に近づける>

- 宿題が負担→どの程度までなら可能か→軽減
- 人間関係→どんなことが嫌なのか相談→改善
- 日本語力不足→不足を補う方法を相談→自信
- 補習校より優先したいことがある(スポーツ、旅行、イベント等)→スケジュール調整→遅刻、早退、欠席の相談
- 土曜日はゆっくりしたい  
→なぜそう思うのか →相談  
(時には午後から休息も)

※いずれも担任や学校に相談して、よりよい解決策を見出して欲しいと思います。



(中等部参観 1年国語)

#### <やっぱり続けてよかった>

以下、保護者の皆さまからのアドバイスを紹介します。参考にいただければ幸いです。

- ★全出席でなくとも、成績が芳しくなくとも、補習校の卒業証書を頂ければ全てが報われる。そうは言いつつ、土曜日が近づくと気が重くなるのでした。
- ★保護者の目的意識が大切、目的をしっかり持つこと。
- ★日本の学校に体験入学したことは、補習校のよさを再認識するとともによい機会でした。
- ★補習校に行くだけで日本語は身につけません。家庭は第二の補習校、家庭を日本語環境にしましょう。
- ★我が子を信じて、応援していくことが基本ですよ。
- ★継続は力なり。一步一步進んでいくしかありませんね。
- ★完璧を求めない。自信を持って割り切る。
- ★やめたら土曜日ボーッと、また通い始めました。
- ★「自画自賛協同組合」に家族がなることが大切。結果はどんな人からも認められる機会があるが、頑張っている過程を認め合えるのは家族だけですから。
- ★バイリンガルという難しいことを身に付けるには、ルーティン化するしかない。土曜日必ず補習校に行くことは、まさにバイリンガルへのルーティン化。
- ★親も子も一緒になって「大変だあ〜」と大騒ぎしながら過ごせる時期はそう長くないですよ。